

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	企画部総務課		■担当係	人事厚生係	
■評価事業名称	職員研修(階層別基礎研修)				
■評価事業コード	010200 - 022		■会計区分	一般会計	
■総合計画での 位置づけ	■政策	06 市民が主役となり企業や行政と協働するまちづくり			
	■基本施策	05 効果的な行政運営と強固な財政基盤の構築			
	■施策	01 効果的かつ効率的な行政経営の推進			
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)			■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務				
■法令等の名称	地方公務員法、北上市職員研修規則				
■関連計画の名称	北上市職員研修計画				
■事業の 目的と概要	階層ごとにそれぞれの職務に求められる知識・能力を身につける。新規採用職員研修の実施、岩手県市町村職員研修協議会が実施主体となる階層別研修の受講				

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成24年度事業計画	平成24年度事業量実績
01	職員研修(階層別基礎研修)	職員		9研修、受講者:149名

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費	545	600	550	584	
人件費	2,141	2,045	2,595	944	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	2,686	2,645	3,145	1,528	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	研修終了人員	122人	81人	122人	149人	
03	研修終了者の割合	1.79	1.19	1.79	-	研修終了者/計画人員×100
04	1人当たりコスト	22,016円	32,654円	25,779円	10,255円	

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- ☐ A. 順調
- ☒ B. 概ね順調
- ☐ C. 遅れている

達成状況の分析

階層ごとにそれぞれの職務に求められる知識・能力を身につける。新規採用職員研修の実施
 手県市町村職員研修協議会が実施主体となる
 階層別研修の受講した。9研修117人受講

問題点・課題等

研修が一過性のものにならないように、日常業務に活用できる受講者の意識向上が必要

1. 直接的な受益者の範囲

- ☐ 不特定多数に及ぶ
- ☐ 特定されるが多数に及ぶ
- ☒ 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- ☒ 大きな不利益やリスクが生じる
- ☐ ある程度の不利益やリスクが生じる
- ☐ 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- ☒ 類似の事業はない
- ☐ 類似の事業はあるが競合はない
- ☐ 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ☐ ニーズが高まっている
- ☐ ニーズは変わらない
- ☒ ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- ☐ 順位が高い
- ☒ 順位が中程度
- ☐ 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- ☐ 順位が高い
- ☒ 順位が中程度
- ☐ 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- ☐ 先進的またはユニークな事業である
- ☒ 他と同程度の事業である
- ☐ 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- ☒ 民間委託等の拡充は難しい
- ☐ 民間委託等の拡充が十分に可能
- ☐ 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- ☒ 今以上の効率化や改善は難しい
- ☐ 効率化や改善を図ることは十分に可能
- ☐ 効率化や改善の余地が大きい

■今後の方向性

- ☐ I. 拡充
- ☒ II. 継続
- ☐ III. 縮小・要改善
- ☐ IV. 民間活用・協働事業化
- ☐ V. 廃止・休止
- ☐ VI. 完了

補足説明